

Doc.No : NR030312

2003年3月12日

BGA・CSPパッケージ基板対応の プリント基板製造用レーザープロッターを販売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の電子機器カンパニー(社長：葛川 幸隆)は、プリント基板を製造するためのマスターパターンフィルム作成用レーザープロッター「ラスタグラフRG-8500」を2003年4月1日から販売します。

コンピューター、移動体通信機器、デジタル家電などデジタル機器がわれわれの生活に浸透し、より高性能なものが続々と登場する中、電子部品にはますますの高密度化、軽量化が求められています。それに伴い、プリント基板市場ではさらに高精細化、小型化が可能なアレイ状の端子を持つ多ピンLSI・パッケージを搭載したBGA(ballgrid array)やCSP(chip size package)パッケージ基板がシェアを伸ばしつつあります。

RG-8500は、高密度で高精度な配線パターンが描画できるラスタグラフRGシリーズの最新機種。BGAやCSPパッケージ基板の生産に要求される高精度の描画を実現するため、1ミクロンの画素ピッチで描画処理ができる高機能タイプです。また、回路の設計に用いられるCAD/CAMシステムから受け取ったパターンデータを高速変換し、独自に開発した多チャンネルビームを採用することで、高速にマスク用フィルムに露光。毎分600回転の高速ドラム(オプション)を使用することで、当社従来機に比べ、約2倍の高速出力を可能にしました。

<販売開始予定日>

2003年4月1日

*オプション・600回転高速ドラムは6月末発売予定

<国内希望販売価格(消費税別)>

5,000万円

<初年度販売台数>

30台



ラスタグラフRG-8500

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

<特長>

1. インテグレーションCAMシステムCI-7000を介して、業界で使用されているRS-274X、ODB++、ガーバー準拠フォーマットなどを簡単に取り込める。配置情報などの作成をCAD/CAMシステム側で処理可能。
2. 描画データの内部演算を0.01ミクロン単位で行うことにより、フォーマット変換後の量子化誤差を低減。CADデータにより忠実な画像を再現。
3. 描画パターンに応じた最適な描画精度で高速出力が可能。
4 μ mビーム/1 μ mピッチ、5 μ mビーム/2.5 μ mピッチ、5 μ m/5 μ mピッチ、
10 μ mビーム/10 μ mピッチ
4. フィルム搬送部を高速化するとともに、新規ローディング機構を採用することにより、フィルムにストレスを与えず、高性能な寸法安定性を実現可能。
5. 記録ドラム加工方法を改良し、超高精度ドラムを実現。
6. 光源には、長寿命、低消費電力の半導体レーザーを採用。イニシャルコストとランニングコストを低減。
7. 出力部での待ち時間を発生させないように、描画中に並行して最大4つまでのデータ変換処理が可能。

<紙誌面掲載用お問い合わせ先>

大日本スクリーン製造株式会社
電子機器カンパニー 企画管理部(上田)
TEL:075-417-2632